



夏本番。太陽の日射しも痛いほど強く、見かける子ども達の肌は、早くも小麦色です。去年の夏は記録的な猛暑でした。体調を崩された方も多かったと聞きます。今年の夏は予報では平年並とのことですが、十分に水分と休養を取り、快適な夏を過ごしましょう。

前回では、1認知症(痴呆)とは 2認知症の原因について御説明させていただきました。今回は引き続き認知症についてですが、3認知症の治療 4相談機関等について御説明させていただきます。

3 認知症の治療について

認知症の8~9割を占める、脳血管性およびアルツハイマー型の認知症は治ることはありません。しかし、その他の内分泌疾患、代謝性疾患、頭部打撲等の外傷性、脳腫瘍、うつ病等が原因の認知症は、早期に適切な治療を受ければ回復することがあります。また、脳血管性およびアルツハイマー型の認知症であっても、適切な内服治療や周囲の人達の対応で症状はあきらかに違ってきます。大切なことは、おかしいなと思ったら、早めに医師に相談することです。そして、脳外科、内科(特に、内分泌代謝系)の診察でも異常が見つからなかった場合、認知症高齢者の治療もおこなっている精神科への受診をお勧めします。高齢者の体はたいへんデリケートです。一般的な精神科で処方される薬は、高齢者には強すぎることもあり、匙加減が専門医でないと難しいと聞いています。精神科と聞いて、ちょっと驚かれる方もいらっしゃると思います。受診を躊躇される方も多いと思いますが、そんなときは病院に、電話相談だけでもしてみたいかがでしょうか。精神科医や臨床心理士、精神保健福祉士等の専門家が相談にのってくれます。

認知症は決して恥ずかしい病気ではありません。そして、認知症を抱える御家族もたいへんと思いますが、いつも頭の中が混乱している認知症の御本人が一番つらいのです。勇気を出して、受診または相談されることをお勧めします。

< 認知症の方に処方される薬について 「ぼけ 受け止め方、支え方」より >

脳代謝賦活剤 脳神経細胞の働きを活発にする薬剤です

血管拡張剤 脳の血液の循環を改善する薬剤です

向精神剤 不眠、興奮、妄想、抑うつなどの症状に対して使われる薬剤です

4 相談機関について

高齢者 介護支え合い相談(厚生労働省助成事業)

フリーダイヤルで、全国どこからでも、携帯からでも無料で電話相談ができます。

TEL:0120-070-608

FAX:0120-502-588

受付時間:月～金曜日 午前10:00～午後3:00

(土、日、祝日、年末年始などは休み)

在宅介護支援センター

在宅介護に関するあらゆる相談にのってくれます。お住まいの地域にある、在宅介護支援センターがわからない場合は、ワーカーに声をかけてください。また、市町村役場に問い合わせても教えてもらえます。

ぼけ老人を抱える家族の会

認知症の老人をかかえる家族、関係者によって結成されている唯一の団体です。

1980年に京都で発足し、現在は全国40都道府県に支部を持っています。

群馬県支部「デイみさと」内 TEL:027-360-6421

FAX:027-360-6422

家族の会 ぼけの電話相談(本部) 0120-294-456

(土、日、祝日を除く毎日、午前10:00～午後3:00まで)

ぼけ110番:ぼけ予防協会と毎日新聞社が開設している全国的な電話相談。

TEL:03-3215-1166

(毎週月、木 午前10:00～午後3:00まで)

その他、市町村役場福祉担当、地域の社会福祉協議会

以上、認知症の治療および相談機関について御説明させていただきました。次回は、認知症の方の利用可能な施設について、御説明したいと思います。

なにか、お困りのことがありましたら、いつでもソーシャルワーカーに御相談下さい。

北関東循環器病院 医療相談室